



各 位

東京都千代田区二番町7番地5
株式会社インフォメーション・ディベロプメント
代表取締役社長 船越真樹
(JASDAQコード番号: 4709)

問合せ先 社長室長 山内 佳代

TEL (03) 3262-5177

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、平成22年3月期の連結決算において特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	680	670	300	40.39
今回発表予想 (B)	17,263	850	864	155	20.88
増減額 (B - A)	263	170	194	△145	—
増減率 (%)	1.5%	25.0%	29.0%	△48.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	18,458	1,057	1,109	563	75.87

2. 修正の理由

実体経済の悪化による企業のIT関連投資縮小や経費節減傾向の継続により、厳しい経営環境が続いておりますが、このような環境下においても収益を確保すべく、グループ全体での業務効率化やコスト管理の徹底を進めてまいりました。

第4四半期におきましては、特にソフトウェア開発部門において、内製化の推進および生産性向上施策等によるコスト削減効果が表れ、営業利益は8億50百万円（前回予想比1億70百万円の増加）、経常利益は8億64百万円（前回予想比1億94百万円の増加）となる見通しです。

当期純利益は、下記3.に記載の通り特別損失を計上するため、1億55百万円（前回予想比1億45百万円の減少）となる見通しです。

3. 特別損失の計上について

平成20年8月に取得しました当社連結子会社の株式会社シー・エイ・ティ株式の資産性について、将来の業績を厳格に見積り、その回収可能性について保守的に検討した結果、業績が2期連続の赤字で、同社株式取得時に想定していた収益の実現に至らず、当初の回収計画に大幅な遅れが生じているとの判断から、のれんを全額減損し、2億51百万円の特別損失を計上します。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。